



西はりま消防 vol.1

相生市・たつの市・宍粟市・太子町・佐用町の消防広域化：平成25年4月発足

2017.創刊号



消防指令 センターの 紹介

平成28年4月から、最新の高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線システムを導入した「西はりま消防本部消防指令センター」の運用を開始しました。

消防の広域化に伴い、消防指令センターでは、管内の119番通報を全て受信し、消防隊や救急隊への出動指令や無線交信、災害現場の部隊への情報支援などを行っています。

各緊急車両にGPS機能を搭載することにより、災害現場にもっとも近い消防車や救急車を出動させ、災害対応できるようになりました。

また、指令台は最大8席で運用することができ、大規模災害時や通報が集中した場合にも、迅速な対応が可能です。

この消防指令センターが安全・安心の新たな拠点として機能を発揮します。

本部 情報指令室

西はりま消防組合

管理者(たつの市長)

栗原 一



西はりま消防組合は、平成25年4月1日に、相生市、たつの市、宍粟市、太子町、佐用町の5市町の消防行政が広域化し、1本部5消防署2分署4出張所、職員定数280人を配置し、人口約21万人、面積約1,285km²を管轄する一部事務組合として発足いたしました。

平成25年度から、たつの市揖保川総合支所に消防本部機能を整備すべく、消防指令センター、消防指令システム、消防救急デジタル無線の3事業に取り組んできたところであり、これらの事業を着実かつ適正に実施し、平成28年4月から本格的に運用

開始いたしました。

この運用開始に併せて、消防本部体制を充実強化し、本部機能を本格的に発揮しているところであり、各消防署につきましては、活動部隊としての人員を確保し、迅速かつ的確に対応できる部隊運用を行うとともに、統一した指揮命令系統のもとで、管内すべての緊急車両が連携のとれた動態を実現しているところでございます。

近年の災害は、地震や津波はもとより、集中豪雨による土砂災害、火山の噴火など、予測し難い形態の自然災害が各地で発生しており、行政や消防団、地域の自主防災組織等の防災関係機関の連携をより一層密にし、予期せぬ災害にも対応していく必要があります。

このような意味において、今後、この広報誌が消防と地域住民との架け橋となり、防火・防災に向けた情報発信の根幹となることを祈念いたしますとともに、消防行政に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

西はりま消防組合

消防長

横田 京悟



平成25年の「西はりま消防組合」設立当初から、消防活動を円滑に遂行するため、効率的かつ効果的な消防体制の確立に取り組んでまいりました。

広域化当初、通信指令業務は旧4消防本部で行っておりましたが、広域化のメリットを最大限に発揮できるよう通信指令業務の一元化に向け、新たな消防指令センターの整備に着手し、平成28年4月1日から消防本部において運用を開始いたしました。

新たに導入しました消防指令システムでは、119番通報者の位置情報を瞬時に解析し出動

部隊を編成することにより、短時間での出動指令が可能になりました。また、消防救急無線のデジタル化に併せて管内に14の消防無線基地局を整備したことにより、可聴エリアが拡大し、無線音声も明瞭になるとともに、秘匿性の向上が図られ、情報の漏洩防止が強化されました。

この消防指令センターの運用開始により、現場到着時間の短縮、活動支援の強化、情報の集中管理、大規模災害時の応援要請など一元化した指揮命令系統の確立、組織力のある迅速・的確な対応が可能となりました。

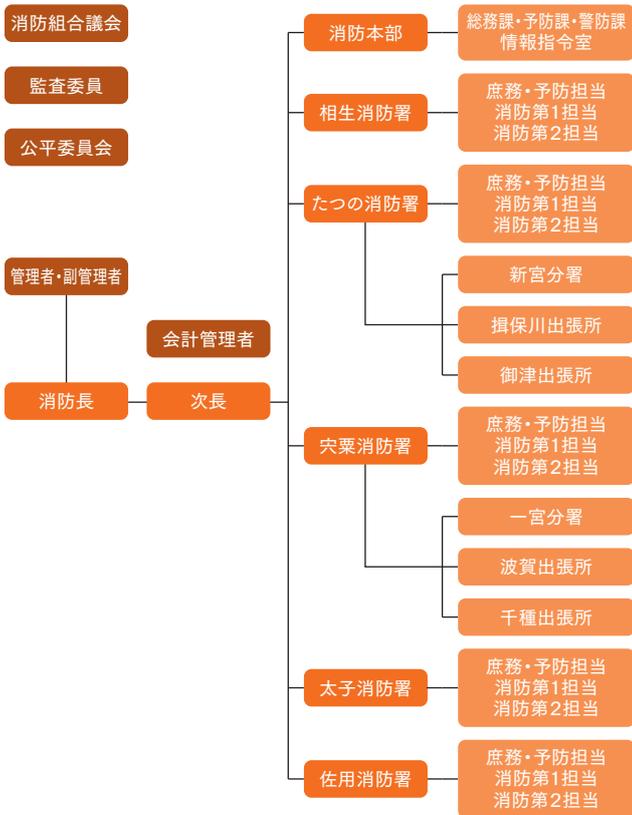
また、消防本部体制の充実強化と署所の専任化による人員の適正配置、車両の効率的な整備運用にも取り組み、災害対応能力も一段と向上しました。

今後もさらに、消防の使命を再認識し、安全・安心の地域づくりを進めていく覚悟であり、この広報誌を媒体として情報を発信してまいりますので、消防業務に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

西はりま消防組合の組織・人事・財政状況

◎西はりま消防組合組織図

(H28.4.1 現在)



◎年齢別職員実数

(H28.4.1 現在)

条例定数	280人		
職員実数	280人		
年齢別内訳			
20歳 未満	8人	40歳～43歳	36人
20歳～23歳	24人	44歳～47歳	23人
24歳～27歳	23人	48歳～51歳	25人
28歳～31歳	29人	52歳～55歳	31人
32歳～35歳	22人	56歳～59歳	39人
36歳～39歳	20人		

◎職員の平均年齢及び平均給料月額

(H28.4.1 現在)

消防職員	平均年齢	40.8歳
	平均給料月額	313,227円
	平均給与月額	379,176円

注)「給与月額」とは、職員の給料月額と毎月支払われる諸手当の合計額

◎平成27年度決算概要

西はりま消防組合一般会計の決算状況は、歳入総額が4,062,277千円、歳出総額が3,975,077千円で、歳入歳出差引額は、87,200千円となっています。

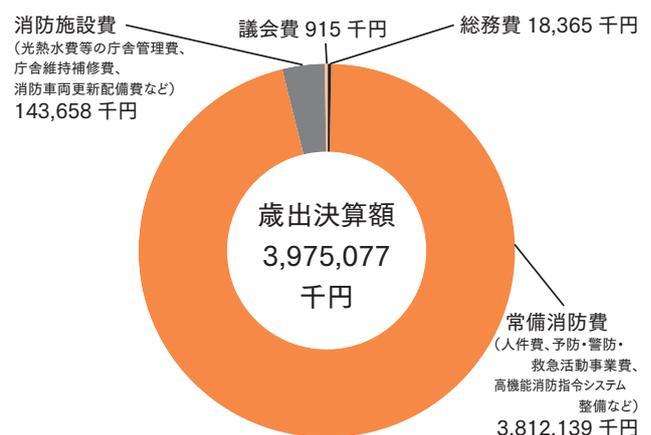
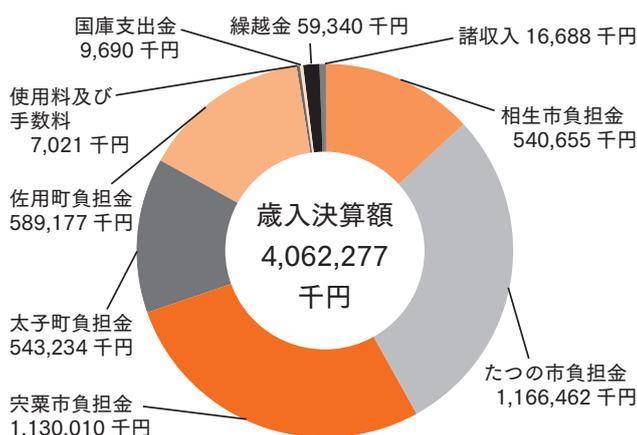
◎平成27年度の主な事業

- ・高機能消防指令システム整備
- ・指揮車更新(たつの消防署)
- ・消防救急デジタル無線整備
- ・査察車更新(たつの消防署)
- ・高規格救急車更新(相生消防署)
- ・資機材搬送車配備(宍粟消防署)
- ・消防ポンプ自動車更新(たつの消防署)

◎職員の競争試験及び選考の状況

西はりま消防組合職員の採用は競争試験により行っており、平成27年度の実施状況は下のとおりです。

職種区分	消防士	
	大卒区分	短高卒区分
申込者数	10人	39人
受験者数	10人	36人
合格者数	3人	8人
倍率	3.3倍	4.5倍



消火・人命救助・救命処置に消防長感謝状を贈呈

本部総務課 ☎ 0791-76-7119



<功績のあった方々>

左から

山田 貴寛様 (たつの市揖西町)
大西 弘之様 (姫路市飾磨区)
岡本 真也様 (姫路市広畑区)
長石 研次様 (たつの市龍野町)
宍戸 章司様 (姫路市栗山町)

<事案の概要>

平成28年8月、たつの市揖保川町で発生した建物火災において、付近で作業中の5名の男性が迅速な通報・消火・救出活動を実施されました。



<功績のあった方々>

左から

株式会社科学飼料研究所龍野工場
阿部 敏行様 (工場長)
鶴井 広様 (たつの市龍野町)
岸本 将彰様 (たつの市新宮町)

<事案の概要>

平成28年10月、たつの市揖西町の運動公園で心肺停止状態の方に、社内備え付けのAEDを使用して救命処置を実施されました。



<功績のあった方々>

左から

坂上 忠正様 (たつの市龍野町)
孝本 慎之介様 (佐用郡佐用町)

<事案の概要>

平成28年11月、たつの市龍野町で発生した建物火災において、付近住民男性と通学中の男子高校生が、水バケツ・消火器を使用した初期消火と救出活動を実施されました。

設置は義務です!

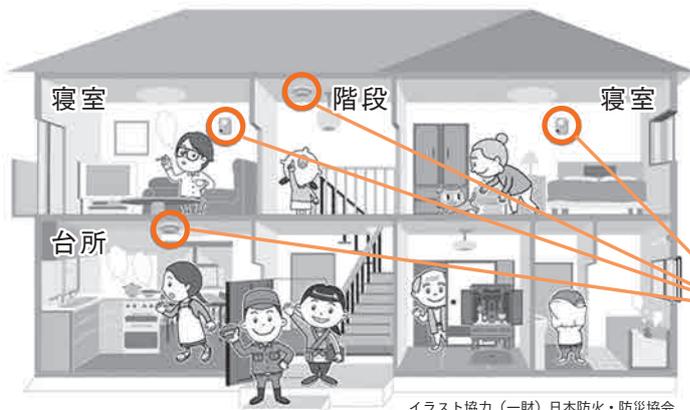
住宅用火災警報器を正しく設置しましょう!

本部予防課 ☎ 0791-76-7120



住宅用火災警報器はなぜ設置するの?

住宅火災で亡くなられた方のうち、半数以上の方が「逃げおくれ」が原因で大切な命を失っています。特に就寝中の火災が多く、早めに知ることができれば、助かる可能性が大きくなります。



家のどこに取り付ければいいのか?

台所、寝室、避難経路となる階段(寝室が2階の場合)には必ず設置しましょう。

○の場所は、西はりま消防組合火災予防条例で設置が義務付けられています。

点検は必要?

定期的(1か月に1回程度)に火災警報器が鳴るかテストしてみましょう。また、10年をめぐりに機器の交換をおすすめします。

※点検方法は点検ひもを引く、点検ボタンを押すなど、機器により異なりますので、取扱説明書をご確認ください。設置場所や取り付け方法など、ご不明な点は消防本部予防課又は各消防署指導係までお問い合わせください。

平成28年 管内災害出動件数

	相生 消防署	たつの 消防署	宍粟 消防署	太子 消防署	佐用 消防署	合 計
火災出動	16 (9)	22 (22)	14 (23)	5 (8)	10 (9)	67 (71)
建物	8	12	5	4	5	34
林野	1	1	0	0	0	2
車両	3	2	3	1	2	11
その他	4	7	6	0	3	20
救急出動	1,259 (1,234)	3,189 (3,061)	1,865 (1,759)	1,435 (1,350)	849 (868)	8,597 (8,272)
急病	793	1,908	1,044	876	485	5,106
交通事故	158	334	148	218	61	919
一般負傷	164	488	282	199	128	1,261
転院搬送	87	343	315	96	144	985
その他	57	116	76	46	31	326
救助出動	19 (20)	30 (29)	37 (32)	32 (14)	18 (12)	136 (107)
交通事故	13	15	23	23	9	83
建物事故	4	5	2	4	3	18
水難事故	0	1	1	3	1	6
その他	2	9	11	2	5	29

() 内は前年件数

西はりま緊急消防援助隊 出動!

本部警防課 ☎ 0791-76-7121



緊急消防援助隊は阪神・淡路大震災を教訓に、全国の消防機関による応援を速やかに実施するため、平成7年度に創設されました。

日常は地域住民のために、消防活動が続ける部隊ですが、いざ、大災害が発生すると全国の部隊が一致団結して、国民の生命を守ります。

全国で5,451隊が登録され、昨年の熊本地震では1,644隊が出動、西はりま消防組合からは救助隊・救急隊など延べ8隊、24名を派遣し、救助活動などを行いました。

各消防署の活動

相生消防署 ☎0791-23-7119



図上訓練の様子

■ 専門学校生に講義

相生消防署では、相生市看護専門学校の授業の一環として「災害医療」について、職員が講義しています。講義では、集団災害等でのトリアージ（治療や搬送の優先順位決定）を重点的に行い、学生達からは「実践的な授業を受ける事ができ、今後活かしていきたい」などの将来に直結する考えを持っていただいております。

■ 歌とダンスで広報

6月の危険物安全週間には、1日消防署長『相生みなとの女王』による啓発活動を実施しています。

平成28年度は、市内コンビニ店駐車場で市内幼稚園児たちが歌とダンスを披露し、「危険物の取扱いに注意しましょう!」と、多数の買物客に呼びかけていただきました。



あおば幼稚園園児たち



■ 消防レンジャーショーで啓発

たつの消防署では、住民の皆さまにわかりやすく、親しみを感じていただける防火指導に力を入れています。

「消防レンジャー」は職員の発案と演出により始まったもので、子どもだけに限らず、広く住民の皆さまにその存在が知られるようになりました。

開始当初は、幼児期における防火思想の普及啓発を目的としていましたが、今では住民の皆さまが多数参加、観覧するイベントに出演し、火災予防だけではなく救急救命に関する知識習得にも一役をかっています。

■ 未来の防火救命リーダーの育成

中学生及び高校生を対象とした本講座では、夏休み中の3日間、消防士としての活動体験を通じて知識や技術を習得し、地域自主防災の担い手を育成することを目指して、毎年若者たちの挑戦を受け入れています。

消火・救急・救助訓練にチャレンジし、災害対応力を身に付け、チームワークの大切さを学んでいます。

この講座を受講し、消防士になる夢をかなえ、現在、消防署に勤務している職員もいます。



ロープ降下訓練



■ ドクターヘリで救命率向上

西はりま消防組合における平成28年中のドクターヘリ要請件数は98件でしたが、そのうちの実に約半数を宍粟消防署が占めています。救命センターまで救急車で30分以上かかる当地域では、いち早く医師が医療介入することで、多くの命を助けることができます。

また、救急救命士も重症者に点滴を行ったり、血糖測定やブドウ糖投与を行えるようになるなど、処置が拡大されました。

■ 山の事故、急増！

近年の登山ブームにより、「宍粟50名山」への登山者は増加傾向にあり、山の事故が毎年発生しています。

宍粟消防署では、そのような事故にも迅速・的確に対応するため、年間を通して山岳救助訓練を実施しています。

また、事故発生時には要救助者を早期に救出するために、兵庫県防災ヘリと連携した活動も行っています。



急斜面での引き揚げ救助訓練

**出前講座を
ご利用ください!!**

西はりま消防組合では、火災や地震などにおける防火・防災対策とケガや病気の時の応急手当などについて、住民の皆さまのご要望に応じて職員が出向きます。また、各消防署において座学・実技指導なども行っています。



放水体験コーナー

■「消防わくわく広場」開催

住民一人ひとりに防火・防災意識の高揚と消防に対する理解を深めていただくため、「見て・聞いて・体験して」をテーマに、子どもから大人まで楽しんで学べるイベントを毎年9月に太子消防署訓練場にて開催しています。

平成28年度には、5つの体験コーナーを設け、子どもたちの真剣な表情で体験する姿が見られました。

なんと来場者数 500 名！

今年も多数の皆さまのご来場をお待ちしております。

体験コーナー 煙体験・フリーライミング体験・水消火器体験・放水体験・レスキュー体験

■「水難救助訓練」実施

水の事故への対応を強化しようと、日ごろからたつの消防署と合同で、水難救助訓練を実施しています。潜水業務を担う隊員は、海上保安庁などの機関との連携や資器材の取扱いに細心の注意を払って訓練し、救助技術の向上に取り組んでいます。



海・プールでの訓練



体験中の様子

■豪雨・急流体験

平成21年佐用町豪雨災害を教訓に、佐用消防署では豪雨・急流体験装置を職員で作製し、様々なイベントで住民の方々に体験してもらっています。

雨の強さ、水の流れの怖さ、長靴での避難の難しさなどを、身を持って感じてもらうことで、災害の怖さを伝えていけるよう取り組んでいます。

なお、各消防署でも同様の装置を備えていますのでぜひ体験してください。

■イルミネーションで火の用心

春と秋の火災予防期間中と、年末警戒期間中の夜間、「火の用心」イルミネーションを点灯しています。

これは、職員が手作りしたもので、文字をLEDチューブライトで形取り、木板に固定しました。

一つの文字の大きさは2m×2mで、訓練塔の南壁面に設置し、道行く皆さまに文字通り「火の用心」を呼びかけています。



訓練塔

出前講座の申込みについて

申込みは、日時・場所・内容などの調整が必要ですので、できる限り早めの連絡をお願いします。また、出前講座内容については、消防署により講座内容に違いがありますので、気軽に各消防署までお問い合わせください。

不撓不屈・冷静沈着・一致団結 をモットーに!



後列左から福本悠介、根田鈴汰、友延浩基、伊野貴俊、小林千人、金谷凜斗
前列左から小林竜太、安田隆敏、黒田昌資、湯浅果央子、春名龍斗

私たちは平成28年度採用の 新人職員です

私たち11名は平成28年4月に採用され、消防士になるため、4月から三木市にある全寮制の兵庫県消防学校で、半年間の初任教育を修了しました。

現在は、救急業務に関する研修を受講しており、平成29年4月からは一人前の消防士として現場活動の最前線に立つことを夢見て頑張っています。

女性消防士、活躍中!!

西はりま消防組合に勤務する2名の女性消防士をご紹介します。

- ①消防士志望動機 ②現在の職務 ③今後の抱負・将来の目標

● 勢納 美和 (平成27年度採用)



- ①救急救命士として住民の皆さまの役に立ちたかったからです。
②たつの消防署で救急係に配属されています。救急隊

員だけではなく、消防隊員として火災現場にも出動しています。

③一つとして同じ現場はなく、一期一会の精神で住民の皆さまに寄り添いたいと思います。将来は救急救命士を目指します。

● 湯浅 果央子 (平成28年度採用)



- ①平成21年の佐用町豪雨災害で自宅が被害に遭いました。災害から住民を守る仕事につきたいと熱望し、消防士になりました。

②現在は、兵庫県消防学校に入校し、救急隊員の資格を得るため勉強中です。

③今は一日でも早く、一人前の消防職員になりたいと思っています。

消防士を目指す女性たちへ2人からのアドバイス

消防庁舎には女性施設も整っていますし、女性目線に立った接遇や防火・救急講習など活躍の場面はたくさんあります。住民の皆さまから感謝の言葉を頂いたとき、消防士になってよかったと感じます。「がんばりが成果につながる」やりがいのある仕事です。一緒にがんばりましょう。

消防職員を募集します

西はりま消防組合では、平成30年4月採用の消防職員を募集します。

採用試験案内ができましたら、西はりま消防組合のホームページや消防組合各構成市町の広報誌などお知らせします。



最寄りの消防署へ電話をかけて消防車や救急車の要請をしても、要請を受けた署所は消防指令センターへ連絡した後に出勤するため、出勤が遅れる場合があります。



消防車・救急車の要請は、迷わず**局番なしの119番通報**をしてください!



診察してくれる病院を知りたいときは…

休日・夜間病院案内 ※自動音声

消防指令センター

0791-76-7160 0791-76-7300

災害の情報を知りたいときは…

災害情報案内 ※自動音声

0791-76-7150